

災害に関する看護管理お役立ち情報メール便(5)

--- 新型コロナ感染症対応から学ぶ 看護マネジメント 10 のポイント ---

1. 新興感染症対応に必要な看護管理の基本姿勢

- ① 非常時であることを宣言し、組織が一丸となって取り組む体制をつくる
- ② 組織として職員を守るという明確なメッセージをすべての職員とその家族に伝える

2. 感染者受け入れ時・クラスター発生時の重要な看護管理実践

- ① 感染者に対応する看護職員の選定方針を説明し、心・技・体が整う看護職員を確認しながら再配置を進める
- ② 感染対策を含むさまざまな人的・物的支援を職員に届ける
- ③ 看護職員が担うべき業務に集中するために組織内の利用可能性のある資源を探し出す
- ④ 最新の情報や院内の情報を速やかに職員に届ける仕組みをつくる
- ⑤ 組織内の差別的発言・温度差や、周囲からの風評被害により職員が傷つけられることを防ぐ
- ⑥ 看護管理者は正解がわからない状況でも前に進むために選択し説明することを続ける

3. 将来の新興感染症に備える看護管理

- ① 災害の一つとして新興感染症対応の準備をする
- ② 地域の医療施設・福祉施設間で相互に協力し合える関係をつくる

※参考

「新型コロナウイルス感染症に対応する看護職員の確保及び最適なマネジメント検討に向けた実態調査研究(研究代表者 武村雪絵)」(令和2年度厚生労働科学特別研究事業)の研究成果を基に、厚生労働省医政局看護課 令和3年度看護職員確保対策特別事業「新型コロナウイルス感染症対応看護マネジメント研修実施事業」の一環で看護管理者が活用できるよう整理したものです。詳細は本学会ホームページにアップの「新型コロナウイルス感染症対応から学ぶ看護マネジメント」冊子([https://janap.jp/wp-content/uploads/point10\\_220405.pdf](https://janap.jp/wp-content/uploads/point10_220405.pdf))をご覧ください。